



議会だより

「ほこたを守る！気持ち新たに～消防出初式～」



第3回定例会の注目議案ピックアップは「水道料金の統一」。要チェック！



銚田市マスコットキャラクター ほこまる

議会映像配信のお知らせ



生中継・録画中継で本会議を傍聴出来ます。

令和2年第1回定例会の予定……**別冊**

令和元年第3回定例会の審議結果は！？
…………… P2～3

ここが聞きたい！一般質問
“11人が質問しました”…………… P5～11

視察研修について報告します…………… P12～13

少人数学級の推進や義務教育予算堅持を
求める請願審査…………… P14

令和元年第3回定例会

12月5日〔木〕 本会議

・行政報告並びに市長提出議案の説明

12月10日〔火〕 総務企画常任委員会

12月11日〔水〕 経済建設常任委員会

12月12日〔木〕 厚生文教常任委員会

12月16日〔月〕 一般質問

議会改革に関する調査特別委員会

12月17日〔火〕 一般質問

百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会

12月18日〔水〕 一般質問

12月20日〔金〕 本会議

・総務企画常任委員会所管事務調査委員長報告

・経済建設常任委員会所管事務調査委員長報告

・議案第1号から第18号質疑・討論・採決

・請願第01―1号委員長報告・質疑・討論・採決

・議議案第9号提案説明・質議・討論・採決

閉会

各議員の賛否が分かれた議案等

会議名	議案等	議員名																	討論		採決結果
		土子勝也	羽成洋一	鬼澤治男	高埜栄治	井川倫士	亀山彰	二重作茂兵衛	小沼勝	根寄眞	水上美智子	入江晃	岩間勝栄	井川茂樹	米川宗司	山口徳	田口清一	堀田正衛	高野衛	賛成	
第3回定例会	第8号 鉾田市水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	堀田	高野	可決

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 議：議長 退：退席 欠：欠席 除：除斥

全会一致で可決された議案等

会議名	議案等	
第3回定例会	第1号	鉾田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について
	第2号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
	第3号	鉾田市職員の給与に関する条例等の一部改正について
	第4号	鉾田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	第5号	鉾田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	第6号	鉾田市災害弔慰金の支給等に関する条例等の一部改正について



概 要

令和元年第3回定例会は、12月5日から12月20日までの16日間の会期で開かれました。

議案は、銚田市災害弔慰金の支給等に関する条例等の一部改正や銚田市水道事業給水条例の一部改正などの条例案や、令和元年度各会計の補正予算案、教育委員会委員の任命など計18件が提出されました。

一般質問は、11人の議員から通告があり、台風等の災害に関する質問や公共交通網施策、学校跡地の活用、農業振興対策、豚コレラ対策などの質問が行われました。(5ページ～11ページ)

常任委員会は、総務企画常任委員会及び経済建設常任委員会で所管事務調査が、厚生文教常任委員会では請願審査と所管事務調査が行われました。

請願は、「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願」が提出され、付託された厚生文教常任委員会で審議されました。(14ページ)

今定例会では、提出された議案すべてが可決され、請願は採択となりました。

また、厚生文教常任委員会から議議案第9号「教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書の提出について」が提出され、全会一致で可決されました。

(14ページ)

全会一致で可決された議案等

会議名	議案等
第3回定例会	第7号 銚田市水道事業の設置等に関する条例等の一部改正について
	第9号 大洗、銚田、水戸環境組合理約の変更について
	第10号 大洗、銚田、水戸環境組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について
	第11号 令和元年度銚田市一般会計補正予算(第3号)
	第12号 令和元年度銚田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
	第13号 令和元年度銚田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
	第14号 令和元年度銚田市介護保険特別会計補正予算(第2号)
	第15号 令和元年度銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
	第16号 令和元年度銚田市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
	第17号 令和元年度銚田市水道事業会計補正予算(第2号)
	第18号 銚田市教育委員会委員の任命について
	請願第01-1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願
	議議案第9号 教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書の提出について



可決

市内の水道料金を統一

議案第8号 銚田市水道事業給水条例の一部改正について

これまで旧町村区ごとで相違していた水道料金及び給水申込時の加入金を統一するもの。
 施行期日 令和2年4月1日(水道料金は7月検針分より改正後の料金)

【改正後の料金】

※料金は税抜き、()は改正幅

給水管の口径	給水申込加入金	基本料金〈水量10m ³ 〉	従量料金〈1m ³ につき〉	
13mm	120,000円 (+ 6,000円)	1,850円 (+150円)	10m ³ を超え 30m ³ まで	30m ³ を超えてから
20mm	150,000円 (+ 7,500円)	1,950円 (+150円)		
25mm	240,000円 (+ 11,500円)	2,050円 (+ 50円)		
30mm	330,000円 (+ 16,000円)	3,000円 (+400円)		
40mm	600,000円 (+ 29,000円)	5,350円 (+150円)		
50mm	1,000,000円 (+ 57,500円)	10,000円		
75mm	2,200,000円 (+486,000円)	20,000円		
100mm	4,400,000円	33,000円	210円 (+15円)	220円 (+10円)



なぜ、最も高かった大洋地区の料金に統一されるの

水道料金の約50%は、浄水場や水道管などを整備するために使われています。今後も、計画的に施設の建設や改良などを行うための資金を確保しなければなりません。しかし、人口減少や節水機器の普及などにより水道料金の収益は伸び悩んでいます。今後も数億円規模の工事が予定されており、安定的な水道事業の継続が危ぶまれる財政状況です。また、利用者の負担は公平である必要があります。

このため、市長が水道事業審議会に料金の統一について諮問(※1)し、審議された結果、最も高かった旧大洋地区の料金に統一し経営健全化を図るよう答申(※2)がありました。これを受けて市長が料金の改正を議会に提案しました。

※1 諮問(しもん) 有識者や一定の機関に意見を求めること。
 ※2 答申(とうしん) 諮問を受けた事項について行政機関に意見を述べること。

主な質疑

- 問** 合併時の「サービスは高い水準に、料金などの負担は低い水準に統一する」という市民との約束に反した内容になっている。市長はこのことについて認識はあるか。また、市長から水道料金の統一について諮問された水道審議会では周知されたか。
- 答** 合併時の内容は承知している。しかし、現在の水道事業の財政状況等を加味すると、高い水準に統一しなければ経営が成り立たないのが現状。このことは、水道事業審議会でも説明している。
- 問** 料金の引き上げにより、1世帯当たりの水道料金は月額でどのくらい上がる試算か。
- 答** 月20m³使用した場合では、従来と比べ、1世帯当たり月額300円程度増加すると試算している。
- 問** 県から供給を受けている水道水(以下、県水)の価格の値下げ要望等には取り組んできたか。また、県水を受水している自治体間で価格維持について協議されているか。
- 答** 県水の価格は通常より低価格で購入しており、今後数年は現状の価格が約束されている。また、受入れ価格については当然のことながら、上下水道事業の共同化や広域化についても模索しながら協議を行っている。可能な施策を取り入れ、市民に低価格でサービスが提供できるよう、県水の価格についても引き続き要望していく。



ここが聞きたい!! 一般質問



一般質問とは？

議員が市政全般の現状や方針などを問うものです。
ここでは、一般質問を要約して掲載します！！

議員名	質問事項
高埜 栄治 P6	1 ひきこもりの実態把握に基づく、自立支援施策の早期取り組みについて
	2 優良事業の承継支援ならびに新規産業導入の環境整備について
	3 大災害時代の本市被害の軽減策ならびに市民生活の安全安心対策について
亀山 彰 P6	1 茨城国体について
	2 安心安全に暮らせる公共交通網施策について
	3 自然災害について
鬼澤 治男 P7	1 大洋統合小学校の通学路の安全性確保について
	2 市街地活性化の取り組みの現状について
米川 宗司 P7	1 学校跡地と環境学習施設について
	2 道路整備について
	3 文化財の保護、啓発について
	4 旭総合支所について
水上美智子 P8	1 高齢者の事故防止運転支援について
	2 成年後見制度の利用について
	3 災害時における避難所と備蓄品について
	4 大洋公民館について
	5 児童生徒のインフルエンザの予防について
入江 晃 P8	1 台風被害の状況及び支援について
	2 台風 15 号における農業被害の対応について
	3 防犯カメラの設置について
	4 SDGs の取り組みについて
	5 緊急時に対応するための広報について
	6 幼児教育無償化に伴う対応について

議員名	質問事項
羽成 洋一 P9	1 農業振興対策について
	2 ともえ荘・ほっとパーク銚田周辺施設について
	3 技術系職員について
	4 国道 354 号の交通安全対策について
井川 倫士 P9	1 未来志向の都市計画の核となる庁舎等公共施設づくりについて
	2 本市の地域コミュニティ醸成と地域力向上によるまちづくりについて
小沼 勝 P10	1 スクールバス運行の安全性にかかわる指導・国体応援バス接触事故対応について
	2 台風 15 号・19 号・21 号・豪雨による市内被害状況と対応について
	3 水鳥湿地観察所予定地の水没について
高野 衛 P10	1 来年度の予算編成方針について
	2 台風被害対策について
	3 銚田南小学校の駐車場などの対策について
	4 特養老人ホームについて
	5 補聴器の助成について
	6 豚コレラ対策について
土子 勝也 P11	1 銚田市農産物の販売等について
	2 待機児童について

お知らせ / 銚田市議会のホームページで一般質問の会議録を公開しています!

- ①銚田市のホームページへアクセス
「<http://www.city.hokota.lg.jp>」
- ②市ガイド内の「銚田市議会」をクリック
- ③「会議録」をクリック
※今定例会の会議録は3月上旬頃公開予定です。



また、各議員の QR コードを読み込むことで、一般質問の録画放送を再生できます。

銚田市役所ホームページ

検索





高埜 栄治

ひきこもりの実態把握と支援施策を



問 ひきこもりという社会問題に対する行政課題と解決策の必要性について市長、教育長の認識を伺う。

答 【市長】 本人や家族にとっても不安な状況に置かれ、公的扶助費の増大や労働力減少につながることは社会的経済的損失でもある。本人家族のみでなく社会的に取り組むべき課題と認識している。

答 【教育長】 不登校者には各種対応をして

いるが、不登校者を出さない事前の指導にも取り組みたい。

再質問 高等学校進学後のひきこもり対策は、通信制への転学をもち最終局面となる。就職にも高卒資格は欠かせず、生涯学習の一環として高等学校卒業程度認定試験対策の支援も含め、支援体制が不可欠である。取り組む考えはあるか。

答 【教育部長】 現在取り組んでいないが、将来的には関係部局と協

力を図りながら検討していかねければならないと考える。

再質問 8050問題は、本市でも多くの

該当世帯があると思われる。要因も病弱、パラサイトシングル等様々であり、実態把握と相談やカウンセリングに加え、具体的民間支援事業の活用も有効と考えるが、市の取り組み姿勢を伺う。

答 【健康福祉部長】 ひきこもりを知られにくい家族がいるので、

現時点でひきこもりに関する実態調査は予定していない。

提言 デリケートな課題ではあるが、

個人情報保護に関する法令や本市条例でも当事者の同意あるいは生命・健康・生活または財産の保護を目的とすれば取り扱えるはず。早急な実態把握と施策に取り組んでいただきたい。

※8050問題…80代の高齢の親と50代の引きこもりの子が同居する家族における問題のこと。



亀山 彰

高齢者タクシー利用助成事業の進捗と実績は



問 急激な少子高齢化が進む銚田市において、交通弱者対策は安心して暮らすために欠かすことのできない喫緊の課題である。そこで高齢者タクシー利用助成事業の中学校区毎の申込状況と利用実績を伺う。また令和元年9月までの報告によると、旭中学校区における利用実績が極端に少ないようだが、その要因と対策について伺う。

答 【健康福祉部長】 令和元年10月末の集計

で、銚田北中学校区において申込者66名で351枚の利用実績、銚田南中学校区では340名で1,676枚、旭中学校区は28名で75枚、大洋中学校区は287名で814枚である。また旭中学校区における利用実績が小さい要因としては、タクシー事業者の営業拠点がないことが考えられるが、詳細の分析まで至っていない。

再質問 仮に大洗町からタクシー利用助

成券を使用して銚田市内のタクシー事業者を頼むと、タクシー事業者のメリット、利用者利便性はあまり望めない事業と思われる。そもそもこの事業をどのように考え、事業化したのか伺う。

答 【健康福祉部長】 公共交通ビジョン策定

の中での提言を踏まえ、元年度より事業を開始した。また鹿行地域において、潮来市や鹿嶋市に先進事例があり、特に潮来市を参考に事業化したところ

である。

提言 地域公共交通会議の中で示されたアンケートによると、旭地区在住の方々は、日常的な買い物や病院への通院などは水戸市や大洗町へ出向く方が多いとの結果である。タクシー事業者の空白地帯でもある旭中学校区の現状を踏まえつつ、市内のタクシー事業者だけでなく、隣接市町のタクシー事業者も利用できるよう検討していただきたい。

である。





米川 宗司

小学校跡地と社会教育施設の計画と進捗は



問 銚田南小学校が開校し、銚田地区内の12小学校が2つの小学校に統合され、よりよい学習環境が整った訳だが、閉校した12小学校の跡地の利用計画と進捗状況について考えを伺う。

答 【総務部長】 小学校区ごとの区長に利活用計画のたたき台を説明し、意見を聞き取り計画の素案を作成したところである。今後は、市民に対しパブリックコメント

トを実施していく。その後、計画が正式となった際には、公共的利活用の学校跡地は次年度からの事業着手を進めるとともに、一方、民間事業者による利活用となる学校跡地については、一般公募等を進めていく。

問 あげぼの館やエコハウスなどの展示施設は手狭で十分なスペースもなく利用者などへの利便性の面で配慮が必要と思われるが市の考

えは。

答 【教育部長】 社会教育施設等の使用状況は、施設が分散していることから適切な配置又は利用形態とは言いがたい。今後の整備方針では、旧徳宿小学校を活用し、歴史民俗資料館機能としてのあげぼの館や分散する文化財の集約、学習環境の整備としてエコハウス内のすずらんルームや旭幼稚園内にある言葉の教室の移設、文化振興を

図るための社会教育団体の活動拠点、クライミング競技の拠点として、社会教育複合施設の整備を計画している。

再質問 この整備計画は、いつごろから進めるつもりなのか。

答 【教育部長】 令和2年度からの整備に向けて、当該予算を要望していく。順調に進めば3年度から開所していきたい。

鬼澤 治男

大洋統合小学校の通学路の安全確保



問 大洋統合小学校は鹿島臨海鉄道に隣接することから、汲上地区、上沢地区、下沢地区などの海岸線方面の児童は跨線橋を越えて通学することとなる。安全な道路や歩道の設置、並びにスクールゾーン等の路面表示の設置について考えを伺う。

答 【教育部長】 スクールゾーンの設置などは積極的に対応できるものは積極的に対応する。歩

道整備等のすぐに対応ができないものについては、銚田市通学路交通安全プログラムに位置づけ、関係部署や関係機関と問題点の共有を図っていく。

再質問 スクールゾーンの具体的な事業計画を伺う。併せて鉄道東側の児童は跨線橋を越えて通学することとなり、その跨線橋の安全性に多くの不安が残る。市の対策について伺う。

答 【教育部長】 跨線橋などハード面について、早急な改善は図れないが、スクールゾーン等の表示については、通学路が決定しだい検討を進めていく。スクールゾーンの表示は学校から半径500メートルの範囲が基本となり、それ以外の場所については学童注意等の表示を行いながら安全確保に努めていきたい。

提言 登下校時に多くの児童が集中す

る跨線橋の安全性に不安が残る。跨線橋の脇に人道橋の新設を検討してはどうか。また各自治体でも、様々な工夫を行いながら歩道空間を設けている事例が多くあるので参考にして検討を進めてほしい。





水上 美智子

災害時の備蓄品に乳幼児用液体ミルクを



問

災害時における避難所の様々なニーズに対応できうる備蓄品を備えていると市ホームページに掲載されているが、その中に2019年3月から国内で販売が開始された乳幼児用液体ミルクと床に直接座る際などに敷くアルミマットを備蓄品として購入する考えはあるか伺う。

答

【総務部長】市では避難者1,000人に対する3日分の食料

問

を目標値として備蓄している。質問の液体ミルクの賞味期限は、粉ミルクの3年に比べ6か月から1年と短く、購入単価は粉ミルクの5倍以上と費用対効果の観点から判断しても、非常時の備蓄品とする対応は難しいと考える。次にアルミマットについては、長期間の避難生活になった場合、アルミマットは効果的なものなのだと思うが、現状、段ボールマットを備蓄し

再質問

新聞報道によると、液体ミルクは常温で飲むことのできる利便性から、災害時に活躍することが大いに期待できると掲載されており、既に水戸市では約1,000本を備蓄していると聞く。本市は、水戸市ほどの出生はないことか

答

【総務部長】液体ミルクの利便性はたいへん評価できるが、金額も高額で賞味期限が短い点や栄養価が粉ミルクと大きく変わらぬことなどを踏まえると、非常時の備蓄品として粉ミルクでも十分に賄えるのではと考える。

問

被災を受けた農業者に対する営農再開に向けた国・県・市それぞれの対応について伺う。

答

【産業経済部長】つなぎ融資を活用していたため、県と市で系統農業災害資金の利子助成を実施し無利子化するとともに、被害が大きいパイプハウス等は要望調査を実施しつつ、国補助事業により支援する。農地や土地改良施設等の復旧

問

被災者支援に係る事務手続きが非常に煩雑で苦情の声が多かったと聞く。申請者の人数及び対応した職員人数、周知方法、申請期間が適正であったのか市の対応について伺う。

答

【産業経済部長】6日間の申請期間を設け、申請者人数は延べ534名で、8名から11

再質問

市長を始め職員が努力は理解しているが、受付を済ませてから申請手続きまでに数時間も待たされたとの農家の声を聞く。受付から申請手続きまでを円滑に進めるような必要な気配りは出来なかったのか。

答

【産業経済部長】事前には用意する申請書類の周知に課題はある。今後の災害に備え、同じ轍を踏まないよう必要な協議を重ねていきたい。





井川 倫士

都市計画の核となる 未来志向の庁舎等公 共施設建設 に向けて



問 厳しい財政状況の中、選択と集中によるまちづくりは重要である。この観点から庁舎等公共施設の建て替えについて、次の2案を含め議論を深めていきたい。(案1) 県合同庁舎を含めたエリアと市街地再開発による一体的な建て替え、(案2) 公共交通再編や都市計画見直しに基づく新銚田駅周辺への建て替え。これらの案を含め庁舎等建て替えの市の考え方を

答 伺う。【総務部長】庁舎等公共施設建設については、様々な面から意見を聴取し、メリット・デメリットを精査して検討していかなければならない。
再質問 どの案であったとしてもメリット・デメリットは当然あるものと考えられる。これまでの本市の施設立地について感じるのは、用地取得の点ばかりが前面にでており、

この副次的要素を、まるで最重要要素のように捉えていると感じる。本来は、市の将来ビジョンを考えたときに理想的な場所はどこなのか、この点を第一義で考えなければならぬ。その中で課題や障害をどのように取り除いていくか、時間を掛けて協議し、計画の作成や交渉などを進めなければならぬのでないか。そのため、前段である都市計画や公共施設個別計

画の見直しの時期を迎えている今から議論を進めて、来年か遅くとも再来年には、庁舎等建設に向けての庁内協議が始まらなければならないものと考えられる。
答 【市長】早めに検討委員会を設置したいと考える。
提言 ぜひ前向きに、早く議論を進めていただきたい。

羽成 洋一

ともえ荘の雨漏り対策、ほっとパーク銚田付帯施設利用状況は



問 ともえ荘施設内部の雨漏りの現状と今後の対策について伺う。
答 【健康福祉部長】雨漏りは数年前より把握していたが施設運営に大きな支障がないため、他箇所の修繕を優先した。2年度予算に計上し修繕にあたりたい。
再質問 雨漏りを確認したが、天井が剥れ落ち通路に水溜りができる状況である。おそらく施設担当者は以前から報告を上げていたものと思

う。簡易な修繕は行っているようだが、そもそも無駄遣いではないか。簡易修繕のみで雨漏りを放置しておく、被害は広がり無駄な費用を費やすこととなる。見解を伺う。
答 【健康福祉部長】雨漏りに対する認識が不足していた。現在雨漏りを全体的に修繕すべく劣化度調査を実施している。その結果を踏まえ対応したい。
再質問 ともえ荘の隣には、同じ入浴施設

を有するほっとパーク銚田があるが、市は今後ともえ荘をどのような考へのもと改修を行うつもりなのか。
答 【市長】私も、ともえ荘の現状は確認した。調査の結果を踏まえ検討していきたい。
問 ほっとパーク銚田付帯施設のバーベキュー場及びパークゴルフ場の利用状況と今後の取組みを伺う。
答 【健康福祉部長】バーベキュー場は4月

から9月に利用が集中し、GWや夏季の休日は予約で埋まる状況である。パークゴルフ場は天候の影響を受けやすく、前年比では減少している。今後はSNSを活用したPRを強化し、新規利用者獲得に繋げたい。
提言 とつぷさんと大利用者も増えていると聞く。さらにアイデアを絞って利用者増に努めていただきたい。





小沼 勝
水鳥湿地センター予定
地水没と大谷川河口付
近の住宅冠水
の対策は



問 土砂搬入を終えた水鳥湿地センター予定地が、台風19号により水没した。今後、土砂等による高上げが必要と思われるが市の考えは。併せて整備後の運営方法について伺う。

答 【市長】 鉾田市と茨城町に役割を分けて施設を整備する予定で、現在、地元の方々の意見や要望を取りまとめている。また水没した水鳥湿地センター周辺の公園施設

設については、台風被害の状況を踏まえ、地盤の高さや排水対策などに配慮した施設整備を行う。整備後の運営については、地元の方々の意見を参考に検討したい。

再質問 総務企画常任委員会会で現地を確認したが、現在の盛り土量で土砂は足りていると考えているか。
答 【市民部長】 今後の基本設計の中で地盤の高さが決まってくる。

現在の土量は暫定的なもので、実際の整備の際に足りないときは土砂を搬入していきたい。

提言 現地は、ホオジロ、ホオアカ、ヒヌマイトトンボの生息地でもある。繁殖期を避けて進めてほしい。

問 大谷川河口付近の住宅冠水被害を受け、住宅側堤防の高上げや水門等の整備について市の考えは。

答 【市長】 大谷川の対策について、管理する県に確認したところ、当面の対策として大谷川の堰前後の河道掘削及び堤防の樹木伐採を含めた除草に向け、2年度の予算で要求すると聞いている。また市として、地元の要望を実施していただけるよう県との調整を図るとともに、家屋周辺護岸の不連続箇所について、対策を講じるよう働きかけていきたい。



高野 衛
鉾田南小学校の
駐車場対策



問 保護者から、運動会における駐車場と観客スペースの不足に関して数多くの意見が出されている。用地を購入するなど、今後の対応を伺う。

答 【教育部長】 鉾田南小の駐車場は、200台程となっているが、開校後の入学式等の式典や行事は大きな支障なく運営できたものと考えている。相当数が必要となる運動会では、近隣に駐車場を確保してシャトルバスを運行した。観

覧スペースについては、入れ替りでの観戦や個人のテントを設置しない等の申し合わせを行った。今後も学校やPTAと連携を図り、柔軟に対応したい。
問 小学校前の県道にも保護者の自動車は入

れず、シャトルバスも足りなかったと聞く。これでは、祖父母などは行かなかつた方も多かつたのではないか。保護者からは運動公園を会場にとの声もあがっているが、考えを伺う。
答 【教育部長】 シャトルバスを5台運行し、朝晩以外は余裕があったと確認している。保護者アンケートでは、有効回答数450のうち、会場については、「満足」や「やや満足」が59・1%、「不満」が40・9%で、6割程が現在の場所にほぼ満足であるとの結果だった。入れ替えでの観戦についても、同様に約6割が「満足」や「やや満足」と回答している。しかし、少しでも解決が図れるよう模索していく必要があると考えている。
提言 不満の声も相当数あるので、皆さんが喜んで運動会に参加できるように努力していただきたい。





議会映像配信

いつでも！どこでも！
開かれた議会へ



一般質問や採決などの本会議の様子は、インターネットを使用した生中継や録画配信を行っています。

ぜひご覧ください！

〈視聴方法〉



鉾田市議会

検索

はじめに、鉾田市議会を検索



ホームページ内
「議会中継」を
クリック

「ライブ中継」

「最新の録画を見る」
から選択してご覧ください

※ライブ中継は本会議当日のみ。

※令和2年4月1日から、議会中継のリンクのアドレスが変更になります。「お気に入り」やデスクトップなどに登録されている方は、4月1日以降に変更をお願いします。

土子 勝也

鉾田市産農産物の販売とPR戦略



問 サツマイモやメロンなど、日本トップクラスの鉾田市産農産物のPRについて伺う。

答 【産業経済部長】現在は、従来のラジオや新聞等に加え、YouTubeやフェイスブック、映画館でのシネアドク、テレビ出演など多様な媒体と情報発信ツールを活用しPRしている。併せて、SNSへの拡散を狙った有名料理店や商業施設等での鉾田市フェ

問 首都圏だけではなく、茨城空港を活用して、就航先での物産販売を行う考えは。

答 【産業経済部長】市としては、ほかの農産物と比べてどう優れているのか、

再質問 メロンのない今夏の季節も、ホームページを開くとメロンのPR動画が流されている。鉾田市は、四季を通じて様々な野菜ができる一番いい場所だと思ふ。

どう違うのか、そういったところを一生懸命訴えていくことだと考えている。まずは人口集中地帯である首都圏を軸に、既存の物流にうまく乗せて販売をできるような取り組みをしていきたい。

答 【産業経済部長】まずは消費者の印象に残るよう、メロンを中心に据えたPR戦略として考えていきたい。

提言 メロンを起爆剤にして全国にという発想はいいと思うが、冬にはいちご、秋には今売り上げが伸びているサツマイモなどもPRして欲しい。

四季を折りまげて、鉾田市にはこんなものがあるんだということをしてPRしていただきたい。



委員会活動

令和元年度銚田市議会議員視察研修（令和元年10月16日～10月18日）

視察目的 6次産業化と農商工連携の取り組み、市民交流センターを併設した庁舎建設事業、水鳥・湿地センター整備について調査研究する。

本年度は、3つの常任委員会が合同で視察研修を実施しました。

銚田市の“産業”と“まち”の活性化に向けて！

佐賀県 鹿島市 6次産業化を支援する「海道するべ」 産業活性化の核に

鹿島市では、産業活性化の核となる拠点施設として「海道するべ」を整備し、6次産業化の取り組みを推進しています。

この施設では、加工研究用の設備が設置され、農水産物を使用した特産品の開発やテスト販売を行っており、観光資源としても活用されています。

6次産業化は、農水産物を生産者自らが加工して販売することで利益を高める取り組みですが、商品開発には多額の設備投資が必要で、二の足を踏む生産者が多いのが現状です。行政が商品開発を支援し、生産者をフォローする体制づくりは、農作物の生産に特化してきた本市の産業にも有効な手段になると感じました。

熊本県 山鹿市 庁舎と市民交流センターを併設 まちの活性化の核に

山鹿市は、新庁舎建設に併せて、併設の市民交流センターを整備しています。

新庁舎は、市民の利便性に配慮した窓口配置がなされ、防災拠点機能として72時間稼働可能な非常用発電設備などを備えて建設されました。

併設する市民交流センターには、410人が収容できる文化ホールや最大140名を収容できる大会議室、和室や調理室、69,000冊を収める図書館などが整備されています。

庁舎と市民交流センターが併設され、国県の行政機関も隣接していることから、まちの核となるエリアが形成され、公共施設の集約化がまちの活性化に大きな役割を果たし、市民の利便性の向上に寄与していると感じました。

熊本県 荒尾市 干潟水鳥・湿地センターを整備 生涯学習の核に

荒尾干潟水鳥・湿地センターは、平成24年にラムサール条約湿地に登録された荒尾干潟の拠点施設です。

ラムサール条約登録湿地である涸沼でも水鳥・湿地センター整備計画が進んでおり、この施設を参考に、市民や来場者に自然環境の重要性を認識していただける施設整備に向け議会から意見を発信していきます。



荒尾干潟水鳥・湿地センターの視察



委員会活動

議会広報編集委員会視察研修

(令和元年10月30日～10月31日)

視察目的 議会広報コンクールで毎年上位に入賞し評価の高い議会だよりの編集方法やスケジュール、特徴的な記事づくりを研究する。

ほこた市議会だよりの

“手に取って” “見てもらえる” 広報を目指します！

宮城県
川崎町

住民とともに作る
“見てもらえる” 議会だよりの

川崎町議会の発行する「議会情報便カワサキ」は、“読んでもらえる”ではなく、“見てもらえる”紙面を目指しています。

紙面には、町内の移住者や農業後継者、起業家などにインタビューし紹介する記事や、毎年議会広報に関するアンケートが実施され掲載されているのが大きな特徴です。

アンケートは、各編集委員が学校や商店などに出向き、直接インタビュー形式で実施しています。調査した方の55%以上が毎回議会だよりを読んでいると回答しており、委員自らが足を運んで町民とコミュニケーションをとりながら広報が作られている成果だと感じ、大変参考になりました。

宮城県
利府町

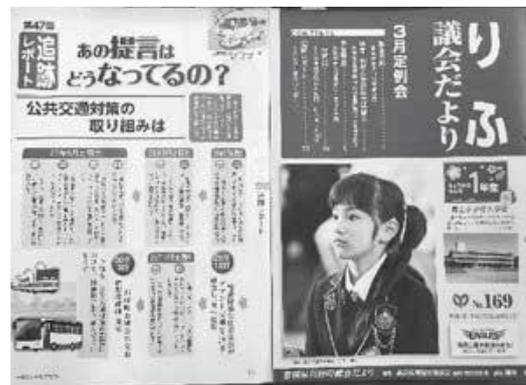
住民の関心を高める
“見やすい” 紙面づくり

利府町議会の発行する「りふ議会だよりの」は、紙面が文章（文字）40%、見出しと写真40%、余白20%を目安に構成され、余白を効果的に設けることで、余裕のある見やすい紙面となっています。

また、特徴的な記事として、“追跡レポート”を掲載しています。これは、一般質問に何度も取り上げられているような事業や要望が町政にどのように反映されているか追跡する記事で、事業の進捗などがわかりやすく掲載されています。このような内容は住民の関心を引き付けることのできる内容であろうと感じました。



「議会情報便 カワサキ」



「りふ議会だよりの」



請 願 審 査

採 択

請願第01-1号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

【請願内容】

本請願は、学校現場における子どもたちの豊かな学びを実現するためには、教職員の定数改善と教材研究及び授業準備の時間を十分に確保することが必要であることから、きめ細やかな教育の実現にむけた少人数学級の推進、子どもたちの教育機会の均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持することについて、国の関係機関へ意見書の提出を求める内容です。



【審査経過】

本請願は、厚生文教常任委員会に付託され、参考人の出席を求めて審査しました。審査においては、教育現場において、英語教育やプログラミング教育が導入されるなど学習指導要領が変化していく中であって、教育費は維持される必要があるとの意見や、教育の質の担保のためにも定数改善を求める本請願の趣旨に賛同するなどの意見があり、請願趣旨は妥当であるとして、**全会一致で採択**となりました。

国に対する意見書

教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書（※一部抜粋）

学校現場における課題が複雑化・困難化する中で子どもたちのゆたかな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠です。

明日の日本を担う子どもたちを育む学校現場において、教職員の長時間労働を是正するためにも教職員定数改善は欠かせません。教職員の働き方改革の取組みを加速することと、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるようにするために、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記

1. 計画的な少人数学級の推進により教職員定数改善をはかること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること。



請願・陳情を受理しています

行政に対する市民の意見・要望等について、年齢や国籍などに関わらず、どなたでも、市議会に対し請願・陳情を行うことができます。

- **提出方法** 決められた様式はありません。見本を参照し、銚田市議会議長宛てに提出してください。
- **受付** 議会事務局で随時受け付けていますが、原則として**定例会開会予定日の8日前**までに提出されたものを、その定例会で取り扱います。それ以降に提出されたものは、次の定例会に付議されます。
- **要件** 「請願」は1名以上の紹介議員の署名または記名押印が必要です。

見 本

(表 紙)

令和 年 月 日
 銚田市議会議長 様
 紹介議員 氏名 印
 ※陳情の場合不要

〇〇〇に関する請願（陳情）書
 請願者 住所
 （陳情）氏名 印

※請願者が複数の場合は、代表者●● 外〇名とし、別紙に請願者全員が押印した署名を添える。

(本 文)

〇〇〇に関する請願（陳情）書

請願（陳情）趣旨
 請願（陳情）理由



議会を身近に！議員と語ろう！

『令和元年度 議会報告会及び市民との意見交換会』開催

日時 令和2年2月22日(土) 14:00～(2時間程度)

場所 鉾田市福祉事務所 2階会議室(鉾田市役所敷地内)

対象者 どなたでも参加いただけます(事前の参加申込不要)

内容 第1部 議会活動報告

各常任委員会所管事務報告

報告テーマ

総務企画常任委員会『飯名地区市有地の利活用について』

経済建設常任委員会『身近な生活道路の整備について』

厚生文教常任委員会『子育て支援と拠点施設について』

第2部 議会活動に関する市民との意見交換会(※参加人数によっては分科会形式)

皆様のご参加をお待ちしております！

お知らせ！



議会を傍聴してみませんか

議場では、予算や施策など市の重要な審議が行われています。

本会議 3月、6月、9月、12月の4回

場所 鉾田市議会議場(鉾田市役所3階)

開会 午前10時

受付 鉾田市役所3階 議会事務局前(事前の申込不要)



本会議は原則どなたでも傍聴することができます。(児童及び乳児は議長の許可による。)ぜひ傍聴にお越しください。

議場内のルール厳守にご協力を



私語や拍手、高笑い
禁止議場内は静粛に



携帯の使用禁止
マナーモードに



議場内飲食禁止



庁舎内禁煙



令和2年第1回定例会(3月)定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
3/1	2	3 本会議 (開会)	4	5 会派代表質問 一般質問	6 一般質問	7
8	9 一般質問	10 各常任 委員会	11 本会議	12	13 本会議	14
15	16 予算特別 委員会	17 予算特別 委員会	18 予算特別 委員会	19	20	21
22	23	24 本会議 (閉会)	25	26	27	28
29	30	31				

※日程は変更になる場合があります。

令和元年第3回定例会延傍聴者数 **133**名
 議会映像配信視聴数 **347**アクセス
 (令和元年12月5日～令和2年1月14日)

編集後記

令和初の新春謹んでお慶び申し上げます。市民の皆様のご健康とご多幸、そして平和な災害のない一年であること、心よりお祈り申し上げます。

昨年は茨城国体で大いに盛り上がり、今年、東京2020オリンピック・パラリンピック開催。大いなる平和の祭典を楽しみにしたいと思います。

令和元年第3回定例会は、提出議案すべてが可決。一般質問は11人の力のある質問が交わされました。

紙面では、「ここが聞きたい！一般質問」など分かりやすい広報に取り組んでおりますがいかがですか。今後も【開かれた議会】を目指し広報活動に取り組んでまいります。

2月22日に議会報告会及び市民との意見交換会を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。(根寄 眞 記)

編集委員

- 委員長 水上 美智子
- 副委員長 鬼澤 治男
- 委員 根寄 眞 高埜 栄治
- 羽成 洋一 土子 勝也



成人式は新成人が企画します
 ～新成人と来年の新成人で構成される成人式実行委員会～



傍聴者の声

二重作区長
 小堀 正夫

12月17日に一般質問を傍聴しました。
 4名の議員の質問を聞いて感じたのは、台風などの災害における避難の仕方や、避難所の備品などの質問があり、8年前の東日本大震災の時や、先日の避難勧告の出た時を思い出しながら聞いていて、避難する時の普段からの準備や心がけが大切であると感じたと同時に、行政から市民に対する周知にしても、さらなる工夫が必要と感じました。

これからも市民の負託に答えて、より良い市議会であるように頑張りたいです。

議会を傍聴してみませんか！

次回の定例会は
3月3日(火)～
 開会は午前10時です

事前の予約は不要ですので、市役所3階議会事務局前にお越しいただき、傍聴の受付をしてください。

